

愛知教育大学

大学院教育実践研究科

教職大学院 案内

教職実践応用領域（現職教員対象）

縣市派遣制度
（2年在学）
大学院修学休業制度
（2年在学）
長期履修制度
（3年在学）

授業づくり
履修モデル

学級づくり
履修モデル

学校づくり
履修モデル



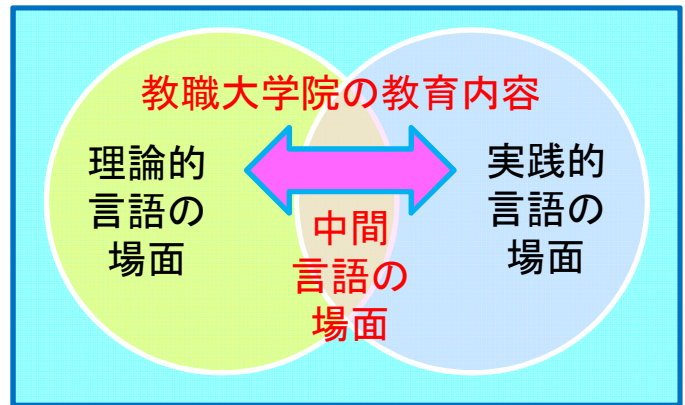
国立大学法人
愛知教育大学

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
TEL (0566)26-2679 教務課教職大学院担当係
MAIL support_ml@m.auecc.aichi-edu.ac.jp
HP <http://www.aichi-edu.ac.jp/kyoshoku/>
★体験授業、大学院説明会の開催情報はホームページをご覧ください。

教職大学院で学ぶ意義とは

応用(現職)院生の最大限の関心は、当然のごとく教育実践の腕を磨くことです。それでも、「理論と実践の融合」に関心を示す院生は少なくはありません。その研究方法がアクションリサーチであり、「教師の、教師による、教師のための研究」と定義されます。これは理論的言語と実践的言語の二つの言語を自由自在に操れる「バイリンガル教師」の育成とも言えるでしょう。もちろん、実践力を向上することが大前提ですが、実践を改善するアイデアを理論的に整理する力、同時に、それを他者へ伝達する力は今後のスクールリーダーにとって極めて重要だと言えるでしょう。「バイリンガル教師」、いかがですか？

理論と実践の融合(バイリンガル教師)



三つの履修モデルを開設

教職大学院・教職実践応用領域は、現職教員を対象とし、これまでの教職経験の中で培ってきた実践的資質・力量をもとに、さらに個の専門性を高めるとともに、学校を変える推進者、さらにはミドルリーダーとなるための資質・力量を育成することを目的とします。三つの履修モデルの中から、希望の履修モデルを選択できます。

授業づくり履修モデル

確かな授業力アップを目指そう！

開設する専門科目の例

- ・実践的授業研究Ⅱ
- ・指導技術力の開発(学びを支える授業力)
- ・教材の深化と発展
- ・授業づくりの内容と方法Ⅱ

「21世紀をたくましく生き抜く力」「確かな学力」「課題解決能力」等を、どの子どもたちにも身につけさせるのは教師の公的な教育責任の一つです。そのためにはまず、「楽しくて分かる、力がつく授業」「人間関係や読書、生活等にも生かせる授業」が大切です。このモデルでは、現代の教育諸課題に対応できる授業づくりと教材開発、学力評価、カリキュラム提案と検証等を通じたブラッシュアップ等を行います。模擬授業・事例研究等を通じた講義や討論、ワークショップにより、これから求められる教師力・授業力、評価・改善、提案できる質の高い力量形成をめざします。

学級づくり履修モデル

学級経営力をアップさせよう！

開設する専門科目の例

- ・問題行動対応演習
- ・進路指導・キャリア教育の実践
- ・特別活動開発演習
- ・学級経営実践演習
- ・教育的コミュニケーション演習

「朝の会とは何か」「教室環境とは何か」「学級文化とは何か」このような学級づくりの基礎・基本について、じっくり考えたことがありますか。学級づくりを充実させるためには、「子ども理解」「規範意識の醸成」「学級通信」「学級組織」など、まだまだ数多くの観点があります。日頃何気なく行ってきた学級づくりの基礎・基本を根本的に見つめ直すことで、新たな学級づくりのコツが見えてきます。学級集団の質を高め、個を育てる学級づくりを実践的、理論的に学べる。そんな授業が満載の学級づくり履修モデルです！

学校づくり履修モデル

学校改革力を身に付けよう！

開設する専門科目の例

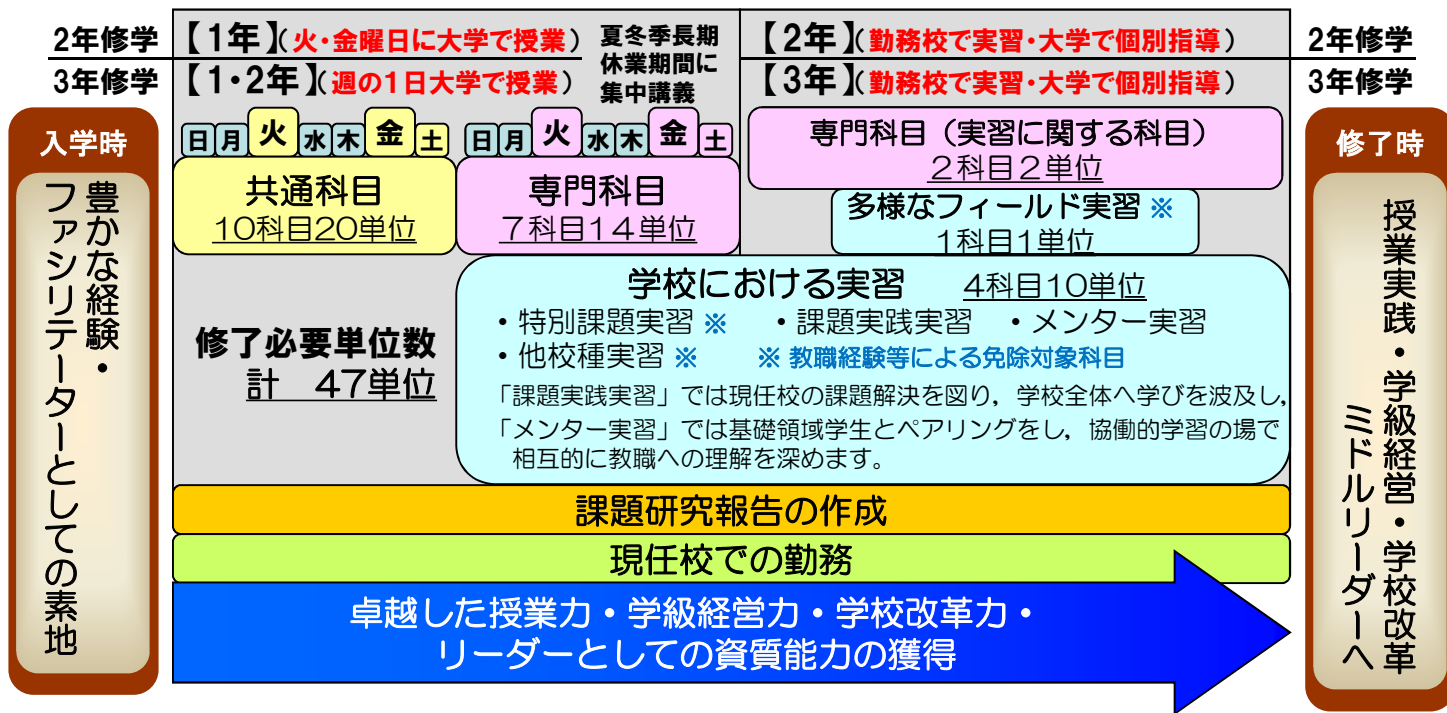
- ・学校におけるリーダーシップ
- ・学校の法的責任
- ・学校における組織的研究開発
- ・カリキュラム・マネジメント論
- ・修学支援体制づくり演習
- ・特色ある学校づくり実践演習

本モデルでは、教育法規を念頭においた上で、まずは社会情勢をふまえながら国・県レベルの教育政策の動向について学びます。次に、学校を活性化する組織改善のために、学校内部では研修体制(教師の学び)を開発し、対外的にも保護者・地域との協働体制を構築します。このことが特色ある学校づくりの実践力を磨き、学校改革力を身に付けていくのです。勤務学校のご自分の立場から、スクールリーダーを意識しているならば、本モデルでの学びは最適ではないでしょうか。

研究的視点を持った実務研究者や、地元の学校実践現場・教育委員会において指導的役割を果たしてきた実務家教員、さらに専門性の高い研究者がT・Tで授業を行い、理論と実践の融合を図ります。

学修の流れ

【本学教職大学院の特徴】職務に従事したまま、学習することができます。



学位授与等について

2年以上在学し、所定の単位を修得した上、修了報告書の審査に合格した者に教職修士の学位が授与されます。また、教育職員免許等関係法令に定める要件を満たした場合には、現に所有する小、中、高1種教員免許状に対応した専修免許状の授与資格が得られます。

修了生のことば



「理論と実践の融合」を学ぶことができた教職大学院は、これまで主に経験に頼っていた自分の実践を修正し、理論に裏付けされた授業力を得ることができた2年間でした。また、実習や、他校種・他教科の現職の先生方との議論を通じて、学校全体のことを考える広い視野をもつことができました。さらに、温かくご指導いただいた教職大学院の先生とは、修了後の現在に至っても、学校教育努力点における校内研修でご助言をいただくなど、交流が続いています。25年度は、教職大学院での学びを生かし、名古屋市教育研究員として、授業研究を深めています。今後も、成果を広く還元できるように、努力していきたいと思ひます。

平成22年度修了生(授業づくり履修モデル) 長岡 知里



教職大学院での2年間の学びは、自分の教育観や教育技術について、再度振り返るよい機会にすることができました。職務を続けながら大学院に通う制度は、大学院での学びをすぐに現場で応用して試みることができるものでした。学級経営については、これまで経験だけを頼りに実践を行ってききましたが、今回の教職大学院での学びを通して、一つ一つの実践に対して、論理的に考える習慣ができるようになりました。このことにより、目の前の子どもたちに対して、自信をもって実践することができ、子どもたちに安心感を与えることができるようになったのではないかと思います。この経験は、今後の教員生活に生かすことができる財産となりました。

また、私は課題研究として、「キャリア教育」を追究しました。現場にいるとなかなか時間がなくて深く追究したり実践を考へたりすることはできませんが、教職大学院という機会を得たことで、多くのことを学びました。そして、修了した現在、職場に対して学びを還元できているのではないかと考えています。本当に熱心にご指導いただき、感謝をしています。

平成24年度修了生(学級づくり履修モデル) 伊藤 幹也



教職大学院での学びは、新鮮な驚きと「教師」の職責を見つめ直す大きなきっかけとなりました。「学校づくり履修モデル」は学校という組織をどのように活性化し、子どもとともに授業をよりよくしていくかという視点で学びを深めました。具体的には、現職研修の活性化や若い先生への助言の方法、研究授業のコーディネートなど多岐にわたるものでした。この2年間の学びは決して簡単なものではありませんでした。しかし、修了後の今は、あらためて授業の楽しさや若い先生と教育について自信をもって語れることのうれしさを感じています。今後も大学院の先生方の指導を忘れず、子どもたちや保護者にとって笑顔いっぱいの学校になるよう精進していきたいと思ひます。

平成24年度修了生(学校づくり履修モデル) 三浦 義広

受験にあたって

本学教職大学院現職教員に対するアドミッションポリシー

教職への熱意を持っていること

教育者としての使命感と責任感を持ち、教育という営みと人間の発達・成長について深く理解し、その上で教師という職業に強い熱意をもっていなければ、多くの課題を抱える教育現場において、その職責を果たすことができません。

高い人権意識を持っていること

ひとりひとりの子どもを理解し、その個性を大切に伸ばし、また、互いに生かし合い、尊重する集団を創るためには、欠くべからざる資質です。

バランスのとれた反省的思考とポジティブ思考ができること

教職は自律した専門職です。そのため、自らの行為に対して反省的に思考し、自らの次なる課題を見いだすことができなければ成長できません。しかしそれと同時に、常に前向きにものごとに取り組む姿勢がなければ日々子どもと向き合うことができません。

豊富な実践経験があること

より高い実践力を修得するためには、学校現場で実際に何が求められているのかを経験から考える必要があります。そのためには、自らの経験を相対化して分析し、そこから一般化しなければなりません。

入学資格要件

※選抜方法など詳細については、学生募集要項で確認してください。

現職教員及び教育関係諸機関に常勤職員として在籍している者で、常勤として5年以上の経験を有する者。(現職教員には保育所勤務の保育士は含みません。また、常勤職員には「臨時的任用職員」や「期限付常勤講師」等は含みません。)

入学料・授業料

※奨学制度など詳細については、愛知教育大学HPをご覧ください。

【入学料】282,000円 【授業料】(前期分)267,900円(予定) (年額)535,800円(予定)
3年修学において、長期履修の申請を認められた場合は、原則2年分の授業料で在学できます。

<経済的支援について>

- (1)教育実践研究科に在学する者で、入学にあたり本人が休業又は退職することにより給与収入が無くなった場合、授業料(年額535,800円)の半額を免除します。
- (2)教育実践研究科に在学する者で、職業が教員(愛知県又は名古屋市から派遣される教員及び自らの意志で現職のまま入学する者)の場合、授業料(年額535,800円)の4分の1を免除します。

県市派遣制度

※詳細については、勤務校もしくは愛知県総合教育センターへお問い合わせ下さい。

愛知県・名古屋市の教育の充実に貢献することを目的に県・市教育委員会からの派遣制度があります。県・市教育委員会から推薦を受けた者は、教職大学院への派遣に対して、教育公務員特例法第22条3項に基づく研修のための出張として扱われ、教職大学院での授業日は大学が勤務公署とみなされます。ただし、教職大学院への受験料、入学料及び授業料等の大学納付金は本人負担となります。

大学院修学休業制度

※詳細については、文部科学省HPで確認してください。

教員が国内外の大学院に在学し、専修免許状を取得する機会を拡充するため、教育公務員特例法等の一部を改正する法律(平成12年4月28日法律第52号)により大学院修学休業制度が創設されました。

制度の概要は、以下の通りです。

公立学校の教員(教諭、養護教諭、栄養教諭及び講師)で、一種免許状又は特別免許状を有する者は、任命権者の許可を受けて、専修免許状を取得するため1年を単位とする3年を超えない期間、国内外の大学院へ在学し、その課程を履修するための休業をすることができます。休業中の教員は、その身分を保有しますが職務に従事しません。また、休業中の給与は支給されません。

愛知教育大学「教職大学院」への招待

教職大学院は、学校が抱えている諸課題に対応できる高度専門職業人の養成を目的とした専門職大学院であり、専門職学位として「教職修士(専門職)」が授与されます。本学は教職大学院制度開始の2008年4月に教育実践研究科を設置し、2つの領域を設けました。「教職実践基礎領域」は、学部直進者がより実践的な指導力を備えて、学校づくりの有力な一員となり得る新人教員養成を目的としています。「教職実践応用領域」は、現職教員がより確かな指導理論と優れた実践力・応用力を備えて、地域や学校における指導的役割を果たし得るスクールリーダー養成を目的としています。新たに教員を目指す院生は、連携協力校における学校サポーターの経験などを通して実践力を深め、現職教員の院生は、現任校等での課題解決の取組みからリーダーとしての資質能力を高めることができます。「授業づくり」「学級づくり」「学校づくり」を柱とした日々の教育・指導では、実践の省察や協働的学習の場面が工夫されており、学び合う中でスキルアップが図られます。

スタッフ一同、皆様のご入学を心よりお待ちしております。



愛知教育大学長
後藤 ひとみ